

こんなことをしています！こんなところでがんばっています！
地域おこし協力隊通信

N高・S高長島町で宿泊学習

11月1日から4日までの期間、全国に2万5千人以上の生徒を有するインターネットの高校、N高等学校とS高等学校の生徒20人が日本マングリンセンターで3泊4日の宿泊学習を行いました。

これは、日本マングリンセンターを拠点に商業体験を通して、長島町とミカンについて学び、考えることを目的として、地域おこし協力隊の渋谷日和さんと地域プロジェクトマネージャーの土井隆さん、学校法人角川ドワンゴ学園が合同で企画しました。

3日、生徒らは、ながしま造形美術展の一角にブースを作り、商品のPR方法を工夫しながら実際に販売しました。4日の最終日には長島およびマングリンセンターをテーマに川添町長らにプレゼンテーションを行いました。参加した高校生は「農家全

体への考えかたが変わり、ミカンへの関心が深まった」「普段できない経験やたくさんの人との交流ができて良かった」と振り返りました。



プレゼンテーションを行う生徒ら



接客する生徒と渋谷さん



生徒に質問する川添町長



造形展会場の出店ブース



マンダリンスピリッツ



カクテルを作る松本さん

地元の温州ミカンで新しいお酒

11月17日、町の温州ミカンを使用したお酒「赤屋根マングリンスピリッツ」のお披露目会が日本マングリンセンター5階長島大陸マングリンBASEで開催されました。

これは、地域おこし協力隊の松本弘さんが所属する（一社）長島大陸まちデザインが南九州市にある酒造会社から企画提案を受け、温州ミカン発祥の地である長島町で、多くの農家がミカンを栽培していることを町内外に周知する良い機会とのことで、今回の商品化となりました。

松本さんは「温州ミカン発祥の地は他にはない長島町だけの魅力。加世堂地区の農家の皆さんに協力を頂きながら完成した商品と共いろいろな形でこの魅力を町内外の皆さんに知ってほしい」と長島町の柑橘を発信していく意気込みを話しました。